

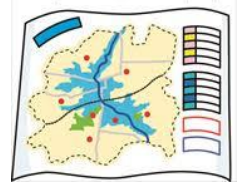
# 新型コロナウイルス感染症対策をふまえた 避難所設営のための事前準備

—住んでいる地域や感染拡大の状況もふまえ、もしもの避難に備えて準備を整えましょう—

## STEP1 ハザードマップで地域に潜む危険を確認

- 避難所の安全性をあらかじめ確認しましょう。
- ハザードマップに図示されている場合は危険があります。災害の種類によっては、別の避難所を検討しましょう。
- 地域の危険箇所も確認して、避難が必要な人がいないか確認しましょう。

### ハザードマップ



## STEP2 避難所以外への避難(分散避難)も検討

- 感染症防止のため3つの密を避けることが重要です。
- 安全性が確保されている自宅や、親戚・知人宅での避難も有効です。
- 雨などの場合、浸水しない場所では車での避難も有効です。



## STEP3 気象情報に注意しましょう

- 台風の前予想進路が暴風域に入りそうな時や、大雨が降りそうな時は、対応について役員で相談しましょう。
- 雨が強くなってからの準備等は危険です。状況を予測し、早めの準備を心がけましょう。



## STEP4 緊急告知ラジオ、緊急情報メール、Yahoo!防災速報アプリから正しい情報が受け取れるように準備しましょう

- 避難勧告などの避難情報の発令など、状況の急変に合わせてすぐに行動できるよう、情報受信端末を整備しましょう。
- 下記のQRコードから、お持ちの携帯・スマホに導入できます。

○緊急告知ラジオの動作確認をしましょう。



○緊急情報メール登録用QRコード



○Yahoo!防災速報アプリ登録用QRコード



## STEP5 警戒レベルの意味を正しく理解しておきましょう

- 警戒レベル3が出たら、避難に支援が必要な高齢者などの避難を進めましょう。
- 警戒レベル4が出たら、危険区域内の方は急いで避難を進めましょう。



## STEP6 避難所での感染症予防用品を準備しましょう

- マスク、体温計（出来れば非接触型）、アルコール消毒液、次亜塩素酸溶液、ハンドソープ、使い捨て手袋など



# 新型コロナウイルス感染症対策をふまえた 避難所運営のポイント

感染症防止を図りながら、避難所を運営する際のポイントをまとめました

## Point1 感染症対策を徹底しましょう

- マスクを着用しましょう。
- 手洗い、うがいの徹底、こまめな換気に努めましょう。

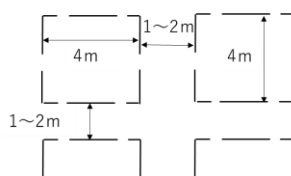


## Point2 密集を防ぐため区画を表示しましょう

- 1家族が1区画（4 m×4 m程度）使用し、家族間の距離を1～2 mあけましょう。
- 感染リスクの高い高齢者・基礎疾患のある人・障がい者・妊産婦は可能な限り、専用のスペースとすることが望ましいです。



1区画の広さは人数に応じて調整する



←間仕切りなどを設置

- 熱がある方などは別室にするか
- 間隔を広くあける

## Point3 避難所に入る前に受付をしましょう

- 避難所受入れ時に、避難者の方の検温を実施し、体調を確認しましょう。
- 避難者カードを記入いただくなど、氏名や連絡先を確認しましょう。
- アレルギーや疾患などの特別な事情についても確認しましょう。
- 入口で避難者ごとに避難場所を指示しましょう。
- 消毒液を用意し、手指消毒をしてもらいましょう。



## Point4 発熱・咳などの症状のある人は専用の部屋を用意します

- 発熱・咳などの症状がある方は、可能な限り個室にすることが望ましいですが、難しい場合は、専用のスペースを確保したり、パーティションで仕切るなど工夫をしましょう。
- 感染症が疑われる場合は、個室を設けるか、市の災害対策本部に対応を相談しましょう。

## Point5 市の災害対策本部に連絡しましょう

- 避難者を受け入れたら、災害対策本部（危機機管理課 83-3515）に避難者数など避難所の状況を教えてください。
- 消毒液など不足する物品があったら連絡しましょう。

## Point6 共用となる部分での感染を減らしましょう

- ドアノブや電気のスイッチなど、複数の人が頻回に触れる場所は適宜消毒しましょう。
- トイレではペーパータオルを利用しましょう。
- 手や口が触れるものは適切に洗浄・消毒するなど特に気をつけましょう。